

国連宇宙空間平和利用委員会第 55 会期の開催結果について

平成 24 年 7 月 4 日

研究開発局

参事官(宇宙航空政策担当)付

国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)は 1959 年に常設委員会として設置され、宇宙活動に関する研究支援、情報交換、宇宙空間の平和利用のための方策、法律問題の検討等を行うものである。本委員会の下には、科学技術小委員会、法律小委員会が設置されている。

今般、第 55 会期本委員会が以下のとおり開催された。

1. 期間

2012 年 6 月 6 日(水曜日)～15 日(金曜日)

2. 場所

国連ウィーン国際センター(オーストリア共和国)

3. 参加者

96 力国・機関

4. 全体概要

(1) 以下の 17 の議題を審議した。

開会

議題採択

議長選出

議長演説

一般発言

宇宙空間の平和利用を維持するための方策と手段、

UNISPACE-3 勧告の実行、

科技小委第 49 会期報告、

法小委第 51 会期報告、

宇宙技術のスピンオフ、

宇宙と社会(宇宙と教育)、

宇宙と水、

宇宙と気候変動、

国連システムの下での宇宙技術の利用、

COPUOS の将来の役割、

その他の事項、

国連総会への報告の採択

(2) 議長選出において、我が国の堀川 JAXA 技術参与が COPUOS 本委員会議長に選出された。

(3) 本年がランドサット打上げ 40 周年であることを踏まえ、会期初日(6 月 6 日)に「ランドサット 40 周年記念特別パネルディスカッション」が開催され、堀川議長の議事進行の下、基調講演及びラウンドテーブルが行われた。また、会期中、ウィーン国際センター(VIC)の円形ホール(ロトンダ)において、記念展示が行われた。

(4) 6 日、小澤大使主催により、堀川議長の就任レセプションが開催され、同レセプションには、立川 JAXA 理事長の参加を得た他、各国から 170 名以上の出席を得た。

(5) COPUOS 参加各国からは、議場内外において、堀川議長就任に対する祝辞と期待の言葉が多く寄せられた。

(6) 我が国からは、ステートメント及びテクニカルプレゼンテーションにおいて、我が国の COPUOS に係る基本的認識並びに宇宙政

策及び宇宙活動全般を紹介した。

- (7) 明年の本委員会の議題に関し、既存の議題2件を1つに統合した上で、標題を変更し、リオ+20のフォローアップ等を行うこととなった。

5. 個別議題

(1) 議題4: 一般発言

会期前日にEU主導により「宇宙活動に関する国際行動規範」に関する多国間会合が開催されたことを受け、複数の国から一般発言の中で同行動規範に関する言及があった。また、インドネシア、米国等から、APRSAP等を通じた我が国との国際協力を評価する発言があった。

(2) 議題8: 科技小委第49会期報告

マルチネス「宇宙活動の長期的持続性JWG議長から、「宇宙活動の長期的持続性JWG及び専門家会合(EG)の活動状況が紹介され、今次会期中に各EGの会合が開催されている旨、また、EG-A(地上の持続可能な開発のための宇宙利用)の共同議長にメキシコのEnrique Pacheco Cabrera氏が、EG-C(宇宙天気)の共同議長にカナダのIan Mann氏が選出された旨報告があった。

(3) 議題9: 法小委第51会期報告

本議題の下、「国内法整備に当たっての推奨事項」に関する国連総会決議案の形式が審議されたが、最終的に本件は来年の法小委において再度審議されることとなった。

(4) 議題15: COPUOSの将来の役割

堀川議長から、同議長としての考え方をまとめた討議ペーパーについての概要の紹介があり、同ペーパーに関し、我が国、米国、イタリア、ナイジェリア等から、議長のイニシアティブを支持する旨発言があった。また、ロシア、チリ、等複数の国からも好意的な

反応があった。来年の本委員会においても、同ペーパーを審議することとなり、そのため、本議題を一年延長することとなった。

(5) 議題16: その他の事項

堀川議長から、2014~2015年期のビューローとして、COPUOS本委員会議長にOussedik氏(アフリカグループ、アルジェリア)、科技小委議長にボス氏(東欧グループ、ハンガリー)、法小委議長にシュローゲル氏(西欧グループ、ドイツ)が各地域グループからの候補者として指名されている旨、また、GRULACがCOPUOS本委員会第一副議長の候補者をエクアドルから指名する予定である旨報告があった。

新規加盟に関しては、アゼルバイジャン、コスタリカ及びヨルダンより加盟申請があった。太陽地球系物理学・科学委員会(SCOSTEP)及びイベロアメリカ航空宇宙法研究所へのオブザーバー資格の付与については、コンセンサスが成立した。

事務局から、議題7「UNISPACE 勧告の実行」及び議題11「宇宙と社会(宇宙と教育)」を統合し、「宇宙と持続可能な開発」を議題の名称を変更して、リオ+20のフォローアップ等を行うことが提案され、合意された。

オスマン国連宇宙部長から、1963年6月16日にテレシコワ宇宙飛行士がボストーク6号に搭乗してから。来年で50周年を迎えることから、来年の本委員会の機会に、宇宙活動への女性の貢献等に関する記念イベントを開催したいとの提案があり、了承された。

(以上)